

無料 法律相談

とき 2月14日(水) 午後1時~4時
3月22日(木)

ところ 中央公民館
(部屋は1F入口案内板に掲示)

主催・連絡先 日本共産党船橋市議団
☎047(436)3030

弁護士と議員が相談を受けます
労働相談も受けています



あなたもぜひお読みください

赤旗 日刊 3,497円
日曜版 823円

日本共産党船橋市議団ニュース
2018年2月 No.220

日本共産党船橋市委員会
船橋市二和東6-41-20
TEL.047(440)5240
市議団控室【船橋市役所内】
TEL.047(436)3030
FAX.047(420)7201

家庭ごみの収集回数を減らすな

今年10月から船橋市は、家庭から出る可燃ごみの収集回数を、週3回から2回にする方針です。

収集回数削減方針に

「紙おむつを使っているの
でにおいが困る」「家族の
人数が多いのでごみが多
く置いておけない」「ごみ
ステーションがいっぱいに
なってしまふ」など不安の
声が上がっています。

市は収集回数を減らす理
由を「資源化への市民意識
を高め、ごみを減量する」
といいます。しかし、ごみ
減量は、「封筒や菓子箱
など資源化できる紙類」の
分別による資源化や、生ご
みの水切りなど、収集回数
を減らさなくてもできるこ

とです。
ごみを減らすためと言い
ますが、船橋市はここ10年
間で人口は増加しているに
もかわらず家庭系可燃ご
みの総排出量は減少してい
るのです。これは市民の努
力によって1人1日当たり
のごみ排出量が毎年減少し
続けた結果です。

人口が増えて、それに
伴ってごみの量が増えたと
言うなら違った議論ができ
るかもしれません。しか
し、ごみが減少し続けてい
る今、ごみ減量に向けた市
民の努力を仇で返す様なや

り方は許されません。
市民を無理やり困らせて
ごみの減量を進めるとい
やり方自体が強制的で、市
民主権に反します。

なにより自宅に長時間ご
みを置くことになる収集回
数の削減は、市の環境衛生
事業の後退であり、3回収
集を守るべきです。

習志野演習場の「降下訓練始め」に 米軍部隊が参加

自衛隊習志野演習場で行
われた「降下訓練始め」に
沖繩の「グリーンベラー」
とアラスカの「スパルタン
旅団」の2部隊80名の米兵
が参加し、10日間にわたっ
て習志野基地に滞在し、訓
練が行われました。米兵の
参加は昨年の15名に続き、
2回目ですが、規模も期間
も拡大しています。

また、沖繩など米軍基地
周辺で事件や事故を繰り返
してきた米兵の基地外への
外出についても「米軍の指
揮官の判断」と、自衛隊基
地でありながら防衛省は米
軍にももの言えない態度で
すが、

習志野基地はパラシュー
ト降下訓練を行う基地と
しては国内最小で、パラ
シュートの場外降着が繰り返
返されています。降下訓練
そのものが危険であり容認
できません。
昨年暮れ、日本共産党は
防衛相に対し米軍参加の訓
練中止と習志野基地での降
下訓練の中止を申し入れる
とともに、船橋市長に、米
軍の参加に反対するよう要
請を行いました。



陸上自衛隊第1ヘリコプター団所属のCH47から降下する、アラスカ米軍第25師団第4歩兵旅団戦闘団の隊員

くらし削り無駄遣いのための積立金を維持

2016年度決算

昨年の9月議会会で市の
2016年度決算が審議
されました。一般会計の剰
余金は39.9億円。繰り越
し分を除いた実質収支額
は25.8億円。そのうち22.
8億円を財源調整基金に繰
り入れました。この結果、
剰余金積立後の財調残高
は194.6億円。依然と
して高水準の状態にありま
す。

は101.6億円。記録に
残っている限り市政史上初
めて100億円を超える不
用額を計上し、財調の取り
崩し額を予算の83.8億円
から70億円へと14億円近く
圧縮しています。とりわけ
民生費の不用額は43.7億
円にのぼっています。

る浪費事業のための潤沢な
積立金を維持する、という
財政運営が続けられていま
す。市立図書館の民営化を
強行したこと、巨額の費用
が見込まれる「メディカル
タウン構想」を推進したこ
となども指摘し、一般会
計決算の認定に反対しまし
た。同決算は日本共産党以
外の全ての会派が賛成し認
定されました。

一般会計歳出の不用額

不要不急の浪費的事業に
つき込む一方、福祉を削り
市民生活を後回しにして多
額の財源を浮かせ、さらな

- | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|---|--|---|
|
渡辺ゆう子
習志野台4-12-3-403
☎462-7273
総務委員会
住居表示審議会委員 |
松崎さち
西船2-12-8-13-B
☎432-9317
健康福祉委員
健康報委員
青少年問題協議会委員 |
中沢学
前原西1-10-23-202
☎493-8140
文教委員会
民生委員推薦会委員
会派 |
関根和子
咲が丘4-12-8
☎447-0557
建設委員長
四市複合事務組合議員 |
佐藤重雄
若松2-4-10-203
☎432-9872
市民環境経済委員
市議会議事運営委員
監査委員 |
坂井洋介
高根台7-14-4-1
☎404-2039
建設委員
議事運営委員
消防 |
金沢和子
夏見1-13-32-705
☎422-5278
総務委員会
社会福祉審議会委員 |
岩井友子
丸山4-22-13
☎438-8647
健康福祉委員
健康報委員 |
丸山慎一
本町7-21-6-709
☎424-6347
県議会議員 |
|---|--|---|--|---|---|---|--|---|

防犯灯の管理はLED化に

合わせ行政に移管を

船橋市では市内の防犯灯について、LED化をすすめています。防犯灯の設置や維持管理は町会自治会が行い、市はそれに対して補助金を出しているだけです。

この防犯灯のことで、いくつもの町会自治会関係者から「防犯灯の管理は本来、市の仕事ではないか、市の仕事を自分たちは肩代わりさせられている」とか

「町会の防犯灯管理の負担が重い、もっと改善してほしい」という声が寄せられてきました。

千葉市や習志野市、八千代市など近隣市では、LED化に合わせて防犯灯の管理を町会自治会から市に移管をすすめています。LED化もいつかに行い、町が明るくなり、市の電気料金負担が大幅削減され、さらに町会自治会の管理のため

大幅引き上げストップを

国民健康保険料と介護保険料

来年度の国保広域化に向け、県は11月、船橋市の国保料は2016年度と比べて一人あたり年間3132円の引き上げが必要と公表しました。

しかし市が行ってきた保険料軽減のための繰入れ分（1人あたり1万5680円）を含んだもので、繰

入れを減らせばさらに大幅な国保料引き上げとなりま

す。市は「来年度予算編成の中で決める」としていますが、くらしの厳しさが増す中で引き上げは許されません。

また介護保険料も現行基準月額4960円を、来年度は月額5000円台後半

公共下水道の民営化狙う条例変更

市の下水道事業会計を企業会計方式にする条例変更が行われました。下水道事業を民営化する条件整備です。総務省が公共下水道の民営化を推進しています。

管理責任は自治体を持つとはいえず、ライフラインである公共下水道を民間に売却し、運営させることにな

ら、受益者負担（市民負担）が増大していく一方で、さらに、災害への備えなどライフラインとしての機能拡充の保障はありません。

公共下水道の公共性を確保していくために日本共産党は民営化を狙う条例変更

に反対しました。

の負担が軽くなったと大変歓迎されています。

市内のLED化は44% 1万7千763灯で、まだ2万2千799灯が残っています。船橋市でも防犯灯の管理を市に移管し、いつかLED化を進め、町会自治会の負担軽減や、電気の節約など、改善に取り組むことを求めました。

市は答弁で、残りの防犯灯をLED化すると、年間の電気料金の節減効果は年間1灯あたり4500円で、総額1億259万5500円となることを明らかにし、市長は「よりよい方法を検討したい」と答えました。

市税条例 問題は放置され可決に

船橋市は、市税条例の資本金1億円以下の法人への規定に「改正漏れ」があるとして、昨年10月27日に是正するための臨時議会を開きました。しかし、改正漏れが発覚した以降も、条例に根拠のない税率で徴収を続け、「重大なミスだが、違法ではない」と開き直りました。

さらに、提案された条例は、税率の変更を、4月にさかのぼって適用し増税する、という「法の不遡及」という原則を無視する内容です。

改正条例の起案が不適切だったことや、改正漏れ発覚後の市の対応、改正条例の内容など問題が多く、臨時議会では議決できず、継続審査となりました。

第4回定例会の本会議で、賛成多数で条例は成立しましたが、「市民共生の会」は、3人が賛成で5人が反対、その他、5人の議員が議場を退席するなど、議論が尽くされた状態ではありませんでした。

また、市の対応や「法の不遡及」などの問題は、何も解決していません。

再発防止策や「法の不遡及」のあり方に、禍根が残るような結果となっています。

市民アンケートをもとに 要望書を市長に提出

日本共産党の市民アンケートにご協力いただきありがとうございました。2017年8月7日までに1173通の回答が寄せられました。

11月21日、日本共産党市議団は松戸徹市長に、アンケートにもとづいた「2018年度・船橋市予算にかかる要望書」を提出しました。

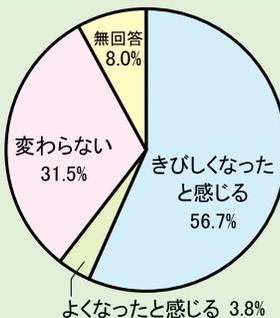
要望書に載せきれなかった項目については、それぞれの地域担当議員が現地を調査し、改善にとりくんでいきます。

今後も皆さんからの要望や公約実現に向けて、力を尽くしていきます。

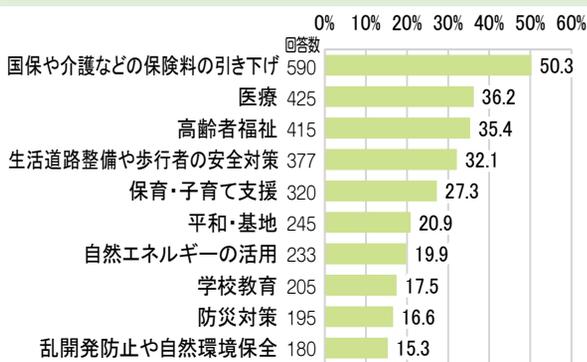


アンケートの集計から抜粋

①暮らしについて 去年と比較してきびしくなっていると感じますか？



② 優先的に実施してほしい政策（複数回答の集計）



市長提出議案・日本共産党提案意見書・陳情への態度

	結果	共産	自由	公明	市民	民進	清風	研政
市税条例等の一部を改正する条例（臨時議会）	△	△	△	△	△	△	△	△
市税条例の一部を改正する条例 修正案（第4回定例会）	×	○	×	×	○ ×:3	×	○ 退:1	○
市税条例等の一部を改正する条例 原案（第4回定例会）	○	×	○	○	×	○ 退:2	○	退
下水道事業の設置等に関する条例（第4回定例会）	○	×	○	○	○	○	○	○
核兵器禁止条約への参加を求める意見書（第3回定例会）	×	○	×	×	○	○	×	×
国民健康保険の都道府県化による引き上げをせず、国民健康保険料の引き下げを求めることに関する陳情（第3回定例会）	×	○	×	×	×	×	×	×
高齢者外出支援の拡充に関する陳情（第3回定例会）	×	○	×	×	○	×	×	×
住民の健康増進と東京オリンピック・パラリンピックに向けて受動喫煙防止条例の早期制定に関する陳情（第3回定例会）	○	○	○	○	○ ×:2	○	○	○

第3回定例会・臨時議会・第4回定例会 提案された主な議案と陳情

市税条例は、総務委員会では、さかのぼって増税することをやめる修正案が、可決されました。そのため、本会議では修正案も提案されましたが、賛成少数で否決。市長が提案した原案が可決されました。

共産：日本共産党、自由：自由市政会、公明：公明党、市民：市民共生の会、民進：民進党、清風：船橋清風会、研政：研政会
退：退席、○：賛成、×：反対、△：継続審査